

## 令和 7年度 基本事業(取組)評価シート (令和 6年度実績評価)

政策 03 くらしの基盤  
 施策 01 環境にやさしい生活の創出  
 基本事業(取組) 01 生活公害・産業公害の防止  
 主管課： 生活環境課  
 関係課：

## 1 基本事業(取組)の目的

対象(誰、何を対象としているか) 市民、事業者	意図(どのような状態にしたいのか) 市民や事業者の生活環境に対する意識の向上を図り、快適な生活環境を保全する。
----------------------------	--

## 2 基本事業(取組)の成果状況(意図の達成度を図る成果指標とその動向)

生活公害・産業公害の苦情件数 (件) 生活環境課						
基準値 (R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値 (R08)
135.00	107.00	136.00	178.00	153.00	0.00	122.00
向上指針	下がると良い	(状況) 令和6年度の件数は153件で、前年度比25件減少し、目標値からは31件超過している状況である。なお、全体の苦情件数のうち、雑草関係の苦情件数が大多数を占めている状況にある。 (原因) 生活公害は、犬猫の飼育に関する苦情が18件減少したことが数値の向上に結びついている。産業公害では、騒音が1件、悪臭4件、水質汚濁1件という状況で、昨年より4件減少している。				
対前年度	向上					
目標達成度	低					
次年度課題	課題とする					

雑草除去率 (%) 生活環境課						
基準値 (R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値 (R08)
92.00	99.10	92.90	93.00	94.20	0.00	100.00
向上指針	上がると良い	(状況) 令和6年度の割合は94.2%で、前年度比1.2ポイント増加し、基準値を2.2ポイント上回っている状況である。 (原因) 前年度と比較して除去率が停滞している原因は、市外在住の連絡がとれない所有者や雑草除去に応じない所有者の未対応の状態となっている土地が影響している。				
対前年度	向上					
目標達成度	中					
次年度課題	課題とする					

基準超過件数(地下水、農業用水、河川水質調査) (件) 生活環境課						
基準値 (R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値 (R08)
4.00	10.00	2.00	6.00	3.00	0.00	0.00
向上指針	下がると良い	(状況) 令和6年度の基準超過件数は3件で、前年度比3件減少し、基準値を1件下回っている状況である。 (原因) 農業用水、河川水においては、基準超過箇所はなく、地下水採取3箇所まで基準を超過している。超過する項目は、硝酸性窒素及び亜硝酸窒素、鉄であり、硝酸性窒素及び亜硝酸窒素は、近くに田や畑があると検出されやすく土壌が影響していると考えられる。				
対前年度	向上					
目標達成度	中					
次年度課題	課題とする					

基準超過件数(自動車騒音、振動調査) (件) 生活環境課						
基準値 (R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値 (R08)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針	下がると良い	(状況) 令和6年度の基準超過件数は0件であり、目標値を達成している。 (原因) 測定箇所全てにおいて基準値を下回っており、道路の適切な維持管理や車両・タイヤの静穏性能の向上により、測定結果が騒音・振動に係る要請限度を下回っているものと考えられる。				
対前年度	横ばい					
目標達成度	達成					
次年度課題	課題としない					



令和 7年度 基本事業(取組)評価シート (令和 6年度実績評価)

政策 03 暮らしの基盤  
 施策 01 環境にやさしい生活の創出  
 基本事業(取組) 02 ゼロカーボンシティの推進  
 主管課： 生活環境課  
 関係課： 納税課、都市計画課、建設課

1 基本事業(取組)の目的

対象(誰、何を対象としているか) 市民、事業者	意図(どのような状態にしたいのか) 市民・事業者・行政が一体となって省エネ活動の推進と自然エネルギーの有効利用を図る。
----------------------------	--

2 基本事業(取組)の成果状況(意図の達成度を図る成果指標とその動向)

ノーマイカーによる二酸化炭素排出削減量 (Kg-CO2) 生活環境課						
基準値 (R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値 (R08)
10,121.90	3,953.10	2,080.70	3,118.30	2,823.09	0.00	11,000.00
向上指針	上がると良い	(状況) 令和6年度のノーマイカーによる二酸化炭素排出削減量は2,823.09Kg-CO2で、前年度比295.21Kg-CO2減少している。また、指標としているノーマイカーによる取組内容の変更により、排出削減量を集計する機会が減少したことから目標値と乖離がある状況である。 (原因) 5月と9月に実施している市内一斉ノーマイカーウィークによる二酸化炭素削減量は254.19Kg-CO2増加したが、事業期間以外での自主的なノーマイカーへの取組が減少してきていることが影響している。				
対前年度	向上					
目標達成度	低					
次年度課題	課題とする					

守谷市の二酸化炭素排出量 (万t-CO2) 生活環境課						
基準値 (R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値 (R08)
76.10	65.20	63.00	0.00	0.00	0.00	58.00
向上指針	下がると良い	(状況) 令和4年度の排出量は、前年度比2.2万 t-CO2減少し、基準値よりも削減できていますが、目標値の二酸化炭素排出量までは削減できていません。 (原因) 部門別での排出量は、産業部門が運輸部門等の他の部門を引き離して全体の約58%を占めており、特に製造業は産業部門の約99%を占めています。令和4年度の排出量減少は、製造業で前年度比3.1万 t-CO2減少したことが影響していると考えられます。 ※最新データ(環境省自治体排出量カルテ：令和4年度)を入力。 ※基準値は国の遡及修正に伴い変更(92.7→76.1)。				
対前年度	向上					
目標達成度	中					
次年度課題	課題とする					

基準値 (R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値 (R08)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

基準値 (R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値 (R08)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						



令和 7年度 基本事業(取組)評価シート (令和 6年度実績評価)

政策 03 くらしの基盤  
 施策 01 環境にやさしい生活の創出  
 基本事業(取組) 03 環境保全活動の推進  
 主管課： 生活環境課  
 関係課： 経済課、建設課、生涯学習課

1 基本事業(取組)の目的

対象(誰、何を対象としているか) 市民、事業者	意図(どのような状態にしたいのか) 市民や事業者が自然環境を大切にす生活や行動を促進する。
----------------------------	--

2 基本事業(取組)の成果状況(意図の達成度を図る成果指標とその動向)

環境美化の日のごみ収集量 (Kg) 生活環境課						
基準値 (R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値 (R08)
22,030.00	15,410.00	31,390.00	30,880.00	28,220.00	0.00	30,000.00
向上指針	上がると良い	(状況) 令和6年度の収集量は、前年度比2,660kg減少し、目標値を下回っている。 (原因) 令和6年度の環境美化の日によるごみ収集量が前年度より減少したのは、普段からの地域における環境美化への取組や市民の美化意識の向上により、市域に遺棄されたごみが減ったことも一因と推測される。				
対前年度	低下					
目標達成度	中					
次年度課題	課題としない					

基準値 (R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値 (R08)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

基準値 (R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値 (R08)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

基準値 (R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値 (R08)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						



令和 7年度 基本事業(取組)評価シート (令和 6年度実績評価)

政策 03 暮らしの基盤  
 施策 01 環境にやさしい生活の創出  
 基本事業(取組) 04 ごみの減量化  
 主管課: 生活環境課  
 関係課:

1 基本事業(取組)の目的

対象(誰,何を対象としているか) 市民,市内事業者	意図(どのような状態にしたいのか) 家庭・事業者から排出される可燃ごみ,不燃ごみ,粗大ごみを減量する。
------------------------------	--

2 基本事業(取組)の成果状況(意図の達成度を図る成果指標とその動向)

家庭系ごみの排出量(1人1日当たり換算)							(g/人・日) 生活環境課
基準値(R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値(R08)	
519.00	501.00	489.00	464.00	459.00	0.00	512.00	
向上指針	下がると良い	(状況) 令和6年度の排出量は459gで、前年度比5g減少し、目標値を達成している。 (原因) ごみの排出量が減少している背景には、広報紙やホームページにおいて、正しいごみの出し方や食品ロス削減、リサイクル等への啓発をしており、市民一人ひとりのごみの減量に対する意識向上が起因していると考えられる。					
対前年度	向上						
目標達成度	達成						
次年度課題	課題としない						

事業系ごみの排出量(1人1日当たり換算)							(g/人・日) 生活環境課
基準値(R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値(R08)	
153.00	152.00	152.00	147.00	147.00	0.00	151.00	
向上指針	下がると良い	(状況) 令和6年度の排出量は147gで、前年度と同量で目標値を達成している。 (原因) 各事業所におけるごみの分別の理解が広まり、事業系ごみの排出が抑制されているものと考えられる。					
対前年度	横ばい						
目標達成度	達成						
次年度課題	課題としない						

基準値(R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値(R08)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

基準値(R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値(R08)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						



令和 7年度 基本事業(取組)評価シート (令和 6年度実績評価)

政策 03 暮らしの基盤  
 施策 01 環境にやさしい生活の創出  
 基本事業(取組) 05 再資源化への取組  
 主管課： 生活環境課  
 関係課：

1 基本事業(取組)の目的

対象(誰,何を対象としているか) 市民,市内事業者	意図(どのような状態にしたいのか) ごみの再資源化に積極的に取り組む。
------------------------------	--

2 基本事業(取組)の成果状況(意図の達成度を図る成果指標とその動向)

資源化率(搬入量ベース)						(%)	生活環境課
基準値(R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値(R08)	
16.90	16.90	17.10	16.50	16.30	0.00	20.00	
向上指針	上がると良い	(状況) 令和6年度の資源化率は16.3%で、前年度比0.2ポイント低下しており、目標値を3.7ポイント下回っている。 (原因) 令和3年度以降は、資源物の総量が減少しており、資源化率が減少しているものと考えられる。 資源物のうち古紙については令和2年度比で約178t減少し、今後も古紙については搬入量が減少することが推測される。					
対前年度	低下						
目標達成度	低						
次年度課題	課題とする						

基準値(R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値(R08)	
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
向上指針							
対前年度							
目標達成度							
次年度課題							

基準値(R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値(R08)	
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
向上指針							
対前年度							
目標達成度							
次年度課題							

基準値(R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値(R08)	
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
向上指針							
対前年度							
目標達成度							
次年度課題							



令和 7年度 基本事業(取組)評価シート (令和 6年度実績評価)

政策 03 暮らしの基盤  
 施策 01 環境にやさしい生活の創出  
 基本事業(取組) 06 廃棄物の適正処理  
 主管課： 生活環境課  
 関係課： 交通防災課

1 基本事業(取組)の目的

対象(誰,何を対象としているか) 市民,市内事業者	意図(どのような状態にしたいのか) ごみの分別を徹底し,再利用可能な資源の有効利用を図る。
------------------------------	--

2 基本事業(取組)の成果状況(意図の達成度を図る成果指標とその動向)

分別等の収集ルールを守らずにごみの収集を保留された件数(集積所ベース)							(件)	生活環境課	
基準値(R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値(R08)			
18.00	5.00	14.00	12.00	12.00	0.00	10.00			
向上指針	下がると良い	(状況) 令和6年度の件数は12件で,前年と比べて横這いで,目標とする数値までは削減できていない。 (原因) 可燃・不燃ごみ,資源物等を集積所に排出するに当たり,分別方法等に係る理解不足や,収集できない物を袋に入れたり,集積所に放置するなどのルール違反等が原因であり,ルールを守らずに保留となったごみは突発的に発生するため,件数の増減に関する原因・傾向を把握することは難しい状況にある。							
対前年度	横ばい								
目標達成度	中								
次年度課題	課題とする								

不法投棄の発生件数							(件)	生活環境課	
基準値(R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値(R08)			
8.00	6.00	4.00	2.00	3.00	0.00	6.00			
向上指針	下がると良い	(状況) 令和6年度の件数は3件で,前年度比1件増加したが,目標値は達成している。 (原因) 茨城県U.D.(Unlawful Dump:不法投棄)監視員や,市と「見守り活動等に関する協定」を締結した事業者等と連携し,監視活動の連携・強化による不法投棄の防止に取り組んでいることが事案発生抑制に繋がっていると考えられる。なお,不法投棄は人目のない場所や時間帯に行為に及ぶため,未然に防ぐことが難しい状況にある。							
対前年度	低下								
目標達成度	達成								
次年度課題	課題としない								

基準値(R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値(R08)			
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
向上指針									
対前年度									
目標達成度									
次年度課題									

基準値(R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値(R08)			
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
向上指針									
対前年度									
目標達成度									
次年度課題									

